

文化表現学科
観光実務士課程

2026年4月6日 更新

科目名	観光学総論		単位数	2	授業時間数	30	担当教員	かんざき こういち 神崎 公一
ナンバリングコード	TOS3211		授業形態	講義	実務経験			
授業方式	対面 ・ 遠隔 ・ その他 ()				アクティブ・ラーニングの実施		有○	
授業の内容	観光は宿泊、交通、物販売り上げ、雇用など地域の経済効果が大きい、そのため、人口減少の中で観光を起爆剤にして地域を盛り上げたい思いがある。観光の歴史、産業としての観光、宿泊業や交通、旅行会社などの現状、そうした業界がどのような人材を求めているかなどを学ぶ。							
到達目標	1. 観光全般について、その歴史、経済とのかかわりなどを総合的に説明できる。 2. 観光に関連する宿泊、飲食など産業の構造について総合的、多面的に理解している。 3. 日本の観光に不可欠のインバウンド（訪日外国人）への取り組みについて、語る事ができる。							
学位授与方針	幼児教育学科 () 地域保育学科 () 文化表現学科 (1, 2, 3)							
授業計画	第1回	内容	オリエンテーションとガイダンス 講義の全体像の説明	予習	シラバスを読んでおく			
				復習	授業の狙いと意義についてまとめる			
	第2回	内容	観光とは何か。なぜ、国、地方で観光が重視されるのか。	予習	観光が重視される理由を調べておく			
				復習	国、地方における観光の役割をまとめる			
	第3回	内容	江戸時代のお伊勢参りから現代まで観光の歴史	予習	江戸時代からの観光の歴史を調べておく			
				復習	日本と世界の観光の歴史をまとめる			
	第4回	内容	温泉やおもてなしなど日本の観光の強みとは何か。	予習	おもてなし文化など日本観光強みを調べておく			
				復習	日本の観光の強みをまとめる			
	第5回	内容	日本の観光の強み 和食の魅力	予習	海外で注目される和食の魅力を調べておく。			
				復習	和食はなぜ、注目されるかをまとめる			
	第6回	内容	観光大国といわれる外国における観光の位置付け	予習	フランスなど観光大国について調べておく			
				復習	海外の観光大国の現状と課題をまとめる			
	第7回	内容	コロナ禍後で戻ってきたインバウンド(訪日外国人)	予習	国、年ごとのインバウンドの推移を調べておく			
				復習	インバウンドがなぜ重要かをまとめる			
	第8回	内容	日本人と海外旅行。海外旅行の歴史	予習	日本人の海外旅行の変遷について調べておく			
				復習	日本人の海外旅行促進についてまとめる			
	第9回	内容	レゼンテーションおよびディスカッション①	予習	発表するテーマを決め、資料を作っておく			
復習				発表資料をもとに理解を深める				
第10回	内容	観光と情報発信 メディアから SNS まで	予習	観光にとって情報発信とは何かを調べておく				
			復習	観光分野の SNS の効果についてまとめる				
第11回	内容	ドラマやテレビのロケ誘致と観光	予習	ロケ地誘致の実態について調べておく				
			復習	ロケ地になり、集客が増える理由をまとめる				
第12回	内容	シニアや障害者も旅を楽しめるユニバーサルツーリズム	予習	ユニバーサルツーリズムについて調べておく				
			復習	年齢などに関わらず旅ができる方策をまとめる				
第13回	内容	観光と世界遺産	予習	世界遺産とは何かを調べておく				
			復習	世界遺産と観光の関連をまとめる				
第14回	内容	新たな旅の目的、道の駅	予習	道の駅とは何かについて調べておく				
			復習	道の駅が地域観光に与える影響をまとめる				
第15回	内容	プレゼンテーションおよびディスカッション②	予習	発表するテーマを決め、資料を作っておく				
			復習	発表資料をもとに理解を深める				
予習に要する学習時間：概ね90分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね90分を目安とする。								
課題へのフィードバック	Google Classroom を用いて、毎回課題作文を提出し、授業のフィードバックを行う。							
成績評価	試験期間における定期試験：実施しない 成績評価の方法：筆記試験、レポート・課題（40%）、作品・発表（ %）、実技（ %）、授業態度【出席数、積極発言】（60%）							
教科書	使用しない。私の作る資料をもとに授業を進める							
参考文献	『令和7年版 観光白書』 観光庁編。							
補足事項	課題作文は毎回提出してください。予習、復習には観光地や地方自治体のウェブサイトを活用してください。 https://drive.google.com/file/d/IW18rySQ2Hgg9vxfIzCHK6GUBw9DCxJxA/view?usp=sharing							

科目名	観光地理学		単位数	2	授業時間数	30	担当教員	かんざき こういち 神崎 公一
ナンバリングコード	TOS3221		授業形態	講義	実務経験			
授業方式	対面 ・ 遠隔 ・ その他 ()				アクティブ・ラーニングの実施		有○	
授業の内容	国内外の観光地の地理を把握し、その特徴、なぜ人気となっているかなどについて、課題を総合的に理解できる授業とする。日本人が海外旅行をする場合、外国人観光客が日本旅行をする双方のケースで、交通・移動・宿泊などの現状と課題について学ぶ。							
到達目標	1. 国内外の観光地の立地などを理解することで、地理的な知識を身につけている。 2. 観光地の歴史、地域とのつながり、文化などについて説明できる。 3. 観光・旅行業界で戦力となる人材に必要な、地理的知識をアピールできる。							
学位授与方針	幼児教育学科 () 地域保育学科 () 文化表現学科 (1. 2. 3.)							
授業計画	第1回	内容	オリエンテーション 観光地理学とは何か	予習	シラバスを読んでおく			
				復習	授業の狙いと意義についてまとめる			
	第2回	内容	地域観光と交通機関の役割	予習	交通の発展と観光の関係を調べておく			
				復習	地域にとっての交通の重要性をまとめる			
	第3回	内容	日本① 東京、大阪などの都市観光の魅力とは	予習	東京や大阪の観光地としての魅力を調べておく			
				復習	大都市の観光の課題についてまとめる			
	第4回	内容	日本② 地方の観光地の特色、特に温泉地について	予習	地方の有名な観光地について調べておく			
				復習	地方の観光地の成功例をまとめる			
	第5回	内容	中国① 北京、上海など大都市の魅力とは	予習	中国の代表的な大都市について調べておく			
				復習	中国大都市の魅力についてまとめる			
	第6回	内容	中国② シルクロード、三国志の舞台など歴史的名所	予習	日本人に人気の観光地について調べておく			
				復習	これらの観光地の魅力をまとめておく			
	第7回	内容	韓国、台湾、香港など東アジアの観光地の特色	予習	各国、地域の代表的観光地について調べておく			
				復習	日本とこの地域の地理的関係をまとめる			
	第8回	内容	タイ、ベトナム、マレーシアなど東南アジア	予習	東南アジア各国の観光について調べておく			
				復習	日本とこの地域の地理的関係をまとめる			
第9回	内容	プレゼンテーションおよびディスカッション1	予習	授業を基にした発表資料を作っておく				
			復習	発表した内容をまとめる				
第10回	内容	アメリカ① 大都市 ニューヨーク、ロサンゼルスなど	予習	アメリカ東部と西部の大都市を調べておく				
			復習	大都市観光の課題をまとめる				
第11回	内容	アメリカ② 大自然、国立公園の特色	予習	アメリカの自然について調べておく				
			復習	アメリカの国立公園の人気についてまとめる				
第12回	内容	カナダ 環境重視のカナダの観光とは	予習	カナダの代表的な観光地について調べておく				
			復習	カナダの観光と環境との関わりをまとめる				
第13回	内容	ヨーロッパ① 南欧、中欧の観光地	予習	仏伊などの観光地について調べておく				
			復習	日本とこの地域の関係をまとめる				
第14回	内容	ヨーロッパ② イギリス、ドイツ、北欧の観光地	予習	英独、北欧やアフリカの観光地を調べておく				
			復習	日本とこの地域の関係をまとめる				
第15回	内容	プレゼンテーションおよびディスカッション2	予習	授業を基にした発表資料を作っておく				
			復習	発表した内容をまとめる				
予習に要する学習時間：概ね90分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね90分を目安とする。								
課題へのフィードバック	Google Classroom を用いて毎回課題作文を提出し、授業のフィードバックを行う							
成績評価	試験期間における定期試験：実施 () する / () しない 成績評価の方法：筆記試験、レポート・課題 (30%)、作品・発表 (30%)、実技 () %、授業態度【積極参加 (30%)							
教科書	無し。私の作った資料を用いる							
参考文献	『令和6年版 観光白書』(観光庁編) 世界地図帳 (出版社はどこでも可)							
補足事項	課題作文によって、社会人となっても必要な文章力を養えるため、積極的に提出してください。 https://drive.google.com/file/d/IW18rySQ2Hgg9vxfIzCHK6GUBw9DCxJxA/view?usp=sharing							

科目名	実用英語		単位数	2	授業時間数	30	担当教員	おかだ まゆみ 岡田 真弓	
ナンバリングコード	TOS3212		授業形態	講義	実務経験				
授業方式	対面 ・ 遠隔 ・ その他 ()				アクティブ・ラーニングの実施		有 ・ 無		
授業の内容	この授業では、観光業務の基礎となるスキルとしての実用英語を駆使できる英会話力を身につけることを目標とする 海外旅行先での英語コミュニケーションで必要とされる「聞く」「話す」「読む」に重点を置くが、これは日本国内で観光業務に使う英語と共通している。また、海外旅行を疑似体験することは、日本と諸外国の文化の違いや外国で起こりえるトラブルを発見する機会にもなり、この経験が来日した外国人等とコミュニケーションをとる際の助けとなる。								
到達目標	1. 様々な状況に対処する英語の語彙力、リスニング力、スピーキング力、読解力を身につけている 2. 観光業務の基礎となる実用的な英会話のスキルを身につけている 3. 異文化に対する理解を深め寛容な精神を持ちながらも、自分の思いや考えを説明できる								
学位授与方針	幼児教育学科 () 地域保育学科 () 文化表現学科 (1, 2, 4)								
授業計画	第1回	内容	ガイダンス (授業概要説明、成績評価説明)			予習	シラバスを読んでおく		
			U1. At the airport			復習	授業の進め方や成績評価について確認する 本日授業で習ったことを復習する		
	第2回	内容	U1. At the airport			予習	U1 空港についての Reading Part の単語の意味を調べ問題をやっておく		
			U2. On the plane			復習	U2 の飛行機内で使用する Vocabulary と p15 までの単語の意味を調べてくる 本日習った単語や表現の復習をしておく 空港内での会話 (p108 Listening) を音読する		
	第3回	内容	U2 On the plane			予習	U2 Reading の単語を調べ問題をやってくる		
			U3. Arrival			復習	U3 空港到着時に関する Vocabulary の意味を調べる 本日習った単語や表現を復習する U2, 飛行機内と U3 到着時の会話を音読する (U2, U3 Listening)		
	第4回	内容	U4 Checking in at the hotel			予習	U4 ホテルのチェックインの際の Vocabulary の意味と p28,29 Reading の単語の意味を調べて問題をやってくる		
						復習	本日習った単語や表現を復習する U4 ホテルのチェックインの会話を音読する Survival Activity について考え会話を書いてくる		
	第5回	内容	U5. Getting information and sightseeing			予習	U5 観光旅行の際につかう Vocabulary の単語の意味と Reading の広告の単語の意味を調べて問題をやってくる		
						復習	本日習った単語や表現を復習する U5 コンシェルジュとの会話を音読する Survival Activity について考え会話を書いてくる		
	第6回	内容	U6 Ordering fast food			予習	U6 ファーストフードを注文する際の Vocabulary の意味と p40 Reading のメニューの単語の意味を調べてやってくる		
						復習	本日習った単語や表現を復習する U6 ファーストフード店での会話を音読する Survival Activity について考え会話を書いてくる		
	第7回	内容	U7 Going to the theater			予習	U7 劇場に行く際の単語の意味と、p46 Reading のチケットと座席表を見て、p47の問題をやってくる		
						復習	本日習った単語や表現を復習する p114 劇場に関しての会話の音読をする		
	第8回	内容	U8 At the restaurant			予習	U8 レストランで使う Vocabulary の単語の意味と p52 の請求書を見て、p53の問題をやってくる		
						復習	本日ならった単語や表現を復習する U8 レストランでの会話の音読をする Survival Activity について考え会話を書いてくる		
	第9回	内容	U9 Shopping			予習	U9 買い物の際の Vocabulary の単語の意味と p58 の広告の単語の意味を調べて問題をやってくる		

				復習	本日習った単語や表現を復習する p116 ショッピングの際の会話の音読をする Survival Activity について考え会話を書いてくる
第10回	内容	U10 Lost and found		予習	U10 落とし物をした際の vocabulary の意味を調べ、p64 Reading のレポートの単語を調べて問題をやってくる
				復習	本日習った単語や表現を復習する 落とし物をした際の会話の音読をする
第11回	内容	U11 Using public transportation		予習	U11 公共交通機関を利用する際の vocabulary を調べ、p70 の掲示の単語を調べてくる
				復習	本日習った単語や表現を復習する 公共交通機関を使った際の会話の音読をする Survival Activity について考え会話を書いてくる
第12回	内容	U12 Exploring parks and sports		予習	U12 公園やスポーツをする際の vocabulary と p76 の表の単語を調べ問題をやってくる
				復習	本日習った単語や表現を復習する 町での会話の音読をする
第13回	内容	U13 Finding your way around		予習	U13 道案内の Vocabulary の意味を調べ、p82 の掲示の単語の意味を調べて問題をやってくる
				復習	本日習った単語や表現を復習する 道に迷った際の会話の音読をする Survival Activity について考え会話を書いてくる
第14回	内容	U14 Medical care		予習	U14 病気の際の vocabulary の単語の意味と p88 Reading の病気治療のメモについての単語の意味を調べて問題をやってくる
				復習	本日習った単語や表現を復習する 病気になった時の会話の音読をする Survival Activity について考え会話を書いてくる
第15回	内容	U15 Leaving for home		予習	U15 出国の際の vocabulary の意味を調べ、p94 Reading の表を見て、p95 の問題をやってくる ノート提出の準備をする
				復習	本日習った単語や表現を復習する ノートを見返して今学期ならったことを思い出す。
予習に要する学習時間：概ね 90 分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね 90 分を目安とする。					
課題へのフィードバック	授業内に実施する小テストや作文の採点・評価、解説を行い返却する。				
成績評価	試験期間における定期試験：実施（ ）する／（○）しない 成績評価の方法： 授業内小テスト（ 60 %）、ノート提出・授業内提出物（ 10 %）、授業態度【ロールプレイなどの積極的参加】（30%）				
教科書	『Enjoy Your Trip! English you need Abroad <Revised Edition> 』（竹内真澄・中井延美・菅原千津、金星堂）				
参考文献	なし（必要な際はプリント等を配布したり動画をみたりする）				
補足事項	ノートを用意し、予習の内容はノートに書いてくる。辞書（電子辞書、紙）やスマートフォンは、指定した時間のみ使用する。授業においては、積極的に他の学生と協働し、新しいアイデアも発表してほしい。				

科目名	イベント・プランニング		単位数	2	授業時間数	30	担当教員	かんざき こういち 神崎 公一	
ナバリングコード	FAS3212		授業形態	講義	実務経験				
授業方式	対面 ・ 遠隔 ・ その他 ()				アクティブ・ラーニングの実施		有		
授業の内容	オリンピック、サッカーW杯といった国際大会から万博、音楽やアニメフェスなどイベント成功のカギは集客、収支、安全性などだ。2025年の大阪万博の例をもとに、イベントの企画立案、収支、外国人対策などについて学ぶ。								
到達目標	1. 立案から開催までイベント成功手法について理解し、説明できる 2. 文化祭など身近なイベントの企画立案をして発表できる 3. 外国人が多く参加するイベントの課題などを理解している。								
学位授与方針	幼児教育学科 () 地域保育学科 () 文化表現学科 (2, 3)								
授業計画	第1回	内容	オリエンテーション 講義の全体像の説明			予習	シラバスを読んでおく		
					復習	授業の狙いと意義について理解する			
	第2回	内容	イベント開催の狙いと種類			予習	イベントとは何か、規模や種類を調べておく		
					復習	イベントの種類別の注意点を理解する			
	第3回	内容	ファンツーリズムとイベント「嵐」、韓流ドラマから学ぶ			予習	ファンツーリズムについて調べておく		
					復習	嵐のイベント成功をまとめる			
	第4回	内容	観光振興とイベント。アニメ聖地、B級グルメなどを学ぶ			予習	アニメ聖地巡りやB級グルメについて調べる		
					復習	これらのイベントの効果をまとめる			
	第5回	内容	ドラマや映画のロケ誘致で集客プランニングを学ぶ			予習	イベントとしてのロケ誘致について調べおく		
					復習	ロケ誘致がいかに効果的であるかをまとめる			
	第6回	内容	経済効果が大きい五輪、万博、国際会議の誘致などを学ぶ			予習	国際的イベントについて調べておく		
					復習	国際的イベントの多彩な効果についてまとめる			
	第7回	内容	テーマパークや遊園地のイベント・プランニング			予習	レジャー施設のイベントについて調べておく		
					復習	レジャー施設のイベントの重要性を理解する			
	第8回	内容	7回までの授業をもとにプレゼンテーション			予習	授業をもとに、プレゼン資料を作っておく		
				復習	プレゼンをもとに課題をまとめる				
第9回	内容	地方の観光地、温泉地のイベントの成功例			予習	観光地、温泉地のイベントについて調べておく			
				復習	プレゼンをもとに課題をまとめる				
第10回	内容	観光列車、レストラン列車などのイベント企画			予習	交通機関のイベントについて調べておく			
				復習	交通機関のイベント効果をまとめる				
第11回	内容	外国人向けイベント・プランニング			予習	インバウンド向けのイベントを調べておく			
				復習	インバウンド向けのイベント課題をまとめる				
第12回	内容	コロナ禍後に急増、デジタルによるイベント効果			予習	デジタルイベントについて調べておく			
				復習	デジタルとリアルの長所、短所をまとめる				
第13回	内容	イベントの失敗と地元への影響（ゴミ、渋滞）			予習	イベントの失敗例を調べておく			
				復習	失敗を避けるには何が必要かをまとめる				
第14回	内容	イベントと環境問題			予習	イベントの環境対策とは何かを調べておく			
				復習	環境対策の成功例をまとめる				
第15回	内容	14回までの授業をもとにプレゼンテーション			予習	授業をもとに、プレゼン資料を作っておく			
				復習	プレゼンをもとに課題をまとめる				
予習に要する学習時間：概ね90分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね90分を目安とする。									
課題へのフィードバック	毎回、課題作文をGoogleクラスルームに提出して、前回授業の振り返りを行う								
成績評価	試験期間における定期試験：実施しない 成績評価の方法：筆記試験、レポート・課題（40%）、作品・発表（10%）、実技、授業態度【出席数、積極参加】（50%）								
教科書	『書名』（著者名、出版社名）特になし。必要に応じて関連ウェブサイトを紹介する								
参考文献	『ディズニーランドの秘密』有馬哲夫、新潮社。 『よみうりランド70年史』よみうりランド・神崎公一編 中央公論事業出版社 『会いたい気持ちがかすファンツーリズム 韓流ブームが示唆したもの、嵐ファンに教わったこと』幸田麻里子、臺順子、流経大出版								
補足事項	課題作文（200字以上）は社会人になっても文章力アップに役立つことを理解し、積極的に提出してください。 https://drive.google.com/file/d/1W18rySQ2Hgg9vxfIzCHK6GUBw9DCxJxA/view?usp=sharing								

科目名	観光事業論		単位数	2	授業時間数	30	担当教員	かんざき こういち 神崎 公一
ナンバリングコード	TOS3215		授業形態	講義	実務経験			
授業方式	対面 ・ 遠隔 ・ その他 ()				アクティブ・ラーニングの実施		有	
授業の内容	新型コロナウイルス感染症により、観光業は弱さが表面化した。一方で、旅行・観光は今後も有望な産業分野だ。それを担う観光事業の課題、訪日外国人対策などを総合的に理解し、説明できるようにする。旅行の変化（団体から個人へ）にどのように対応しているかも学ぶ。							
到達目標	1. 観光業の成り立ち、規模など、さらに課題と将来性を含め説明できる。 2. 観光業に何が必要かについて、訪日外国人（インバウンド）対策を含め説明できる。 3. 新型コロナウイルス感染症に対する観光業の対応などに関し、自分なりの意見を言える。							
学位授与方針	幼児教育学科 () 地域保育学科 () 文化表現学科 (1, 2, 3)							
授業計画	第1回	内容	オリエンテーションとガイダンス。本講義の全体像	予習	シラバスを読み、講義の全体像を理解しておく			
				復習	この授業を通して何を学ぶかをまとめておく			
	第2回	内容	東京など都市集中と観光事業	予習	大都市集中と観光事業の関係を調べておく			
				復習	大都市集中と観光事業者の役割をまとめ。			
	第3回	内容	一泊二食、日本の宿泊業の特色	予習	日本旅館ならではの特色を調べておく			
				復習	これからの宿泊業についてまとめておく			
	第4回	内容	団体旅行から個人旅行、ひとり旅への推移	予習	旅行形態の変化について調べておく			
				復習	個人旅行、ひとり旅についてまとめておく			
	第5回	内容	若者の旅離れとシニアの余暇の使い方としての旅	予習	若者とシニアの旅について調べておく			
				復習	若者とシニアの旅の変化についてまとめておく			
	第6回	内容	格安旅行や格安航空などの広がりとデフレ	予習	宿泊費や交通費の節約術について調べておく			
				復習	なぜ、格安旅行が増えたのかをまとめておく			
	第7回	内容	くまモンなど「ゆるキャラ」、B級グルメと観光業界	予習	「ゆるキャラ」、B級グルメについて調べておく			
				復習	集客と「ゆるキャラ」の関係をまとめておく			
	第8回	内容	アニメの聖地巡礼と観光業界	予習	アニメの聖地巡礼について調べておく			
				復習	アニメが集客に与える影響をまとめておく			
第9回	内容	観光業界とIT化のネット予約と旅行会社	予習	宿泊や交通機関のIT予約を現状を調べておく				
			復習	ネット予約の問題点などをまとめておく				
第10回	内容	休みが少なければ旅行に行けない。観光事業と日本の休暇	予習	日本と欧米の休暇制度の違いを調べておく				
			復習	観光事業にとって休暇の意味をまとめておく				
第11回	内容	観光事業と環境	予習	観光事業と環境問題に関係を調べておく				
			復習	環境に配慮する必要があるのかをまとめる				
第12回	内容	観光事業の課題 人手不足	予習	観光事業と人手不足の関係を調べておく				
			復習	人手不足対策についてまとめておく				
第13回	内容	新たな旅行スタイルの登場	予習	新たな旅行スタイルについて調べておく				
			復習	農業体験などがなぜ人気なのかをまとめておく				
第14回	内容	観光事業の成功、失敗例	予習	国内外の観光事業について調べておく				
			復習	成功例の理由をまとめておく				
第15回	内容	プレゼンテーションおよびディスカッション	予習	発表する資料を作成しておく				
			復習	ディスカッションした内容をまとめておく				
予習に要する学習時間：概ね90分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね90分を目安とする。								
課題へのフィードバック	Google Classroom を用いて、毎回課題作文を提出し、授業のフィードバックを行う。							
成績評価	試験期間における定期試験：実施 () する / (O) しない 成績評価の方法：筆記試験 (%)、レポート・課題 (30%)、作品・発表 (20%)、実技 () %、授業態度【出席数、積極参加】(50%)							
教科書	使用しない。私の作った資料もとに進め							
参考文献	『新・観光立国論』（デービッド・アトキンソン、東洋経済新報社） 『令和7年版観光白書』（観光庁編）							
補足事項	文章力を高めることは、社会人になっても役立つので、課題作文は必ず提出してください。 https://drive.google.com/file/d/1W18rySQ2Hgg9vxfIzCHK6GUBw9DCxJxA/view?usp=sharing							

科目名	環境ツーリズム論		単位数	2	授業時間数	30	担当教員	かんざき こういち 神崎 公一
ナンバリングコード	TOS3223		授業形態	演習	実務経験			
授業方式	対面 ・ 遠隔 ・ その他 ()				アクティブ・ラーニングの実施		有	
授業の内容	観光業が持続的に発展するには自然との調和、環境保護が欠かせない。地球温暖化や海洋汚染などを防ぎながら観光振興を図るための環境ツーリズムについて学ぶ。成功事例や問題点、観光と環境の両立は可能かを考える授業とする。							
到達目標	1. 近年、注目されている環境ツーリズムの重要性を理解している。 2. 環境ツーリズムの実践例を知ることによって、課題などを説明できる。 3. 観光と環境の両立が可能かについて、理解している。							
学位授与方針	幼児教育学科 () 地域保育学科 () 文化表現学科 (1, 2, 3)							
授業計画	第1回	内容	オリエンテーションと授業の全体像			予習	シラバスを読み、授業の意義を考える	
					復習	自分なりに環境関連で何を学ぶかをまとめる		
	第2回	内容	環境ツーリズムとは何か。なぜ、注目されるのか			予習	環境ツーリズムが注目される理由を調べておく	
					復習	地球温暖化などと観光の関連性をまとめ		
	第3回	内容	観光＝経済・観光ビジネスと環境は両立するのか			予習	経済優先＝儲けと環境の関係を調べておく	
					復習	経済と環境の両立させた事例をまとめる		
	第4回	内容	環境ツーリズムと日本エコツーリズム協会の活動			予習	日本エコツーリズム協会の活動を調べる	
					復習	同協会加盟の団体の活動についてまとめる		
	第5回	内容	環境ツーリズムの実践例① 里山・村落			予習	飯能の環境ツーリズムについて調べておく	
					復習	全国の里山の環境ツーリズムについてまとめる		
	第6回	内容	環境ツーリズムの実践例② 温泉			予習	岐阜県下呂温泉の環境ツーリズムに関し調べる	
					復習	温泉地の環境ツーリズムについてまとめる		
	第7回	内容	境ツーリズムの実践例③ 世界遺産			予習	富士山や知床などの環境問題を調べておく	
					復習	世界遺産と環境問題についてまとめる		
	第8回	内容	インバウンドと環境ツーリズム			予習	外国人の環境問題の関心の高さを調べておく	
					復習	外国人対象の環境ツーリズムをまとめる		
第9回	内容	海外の環境ツーリズム先進例① カナダ			予習	カナダの観光と環境の関連を調べておく		
				復習	カナダ国民の環境保護に関する意識をまとめる			
第10回	内容	海外の環境ツーリズム先進例② ハワイ			予習	観光の島、ハワイについて調べておく		
				復習	ハワイ観光に関する環境対策をまとめる			
第11回	内容	旅行業界、地方自治と環境ツーリズム			予習	環境ツーリズムと旅行業界の関係を調べておく		
				復習	環境ツーリズムと旅行業界の実践例をまとめる			
第12回	内容	企業が取り組む環境ツーリズム			予習	JAL, JR などの環境への取り組みを調べておく		
				復習	観光関連産業の環境に配慮する理由をまとめる			
第13回	内容	旅行者自身が行う環境に優しい旅とは			予習	環境に優しい旅はどのようなものか調べておく		
				復習	環境に優しい旅の具体的事例をまとめておく			
第14回	内容	環境ツーリズムの課題と将来性			予習	環境ツーリズムの課題について調べておく		
				復習	環境ツーリズムの将来性についてまとめる			
第15回	内容	プレゼンテーションおよびディスカッション			予習	これまでの講義について発表資料を作っておく		
				復習	ディスカッションした内容を整理する			
	予習に要する学習時間：概ね 90 分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね 90 分を目安とする。							
課題へのフィードバック	毎回指示する課題作文を提出し、授業の振り返りを行う							
成績評価	試験期間における定期試験：実施 () する / (☑) しない 成績評価の方法：筆記試験 (%)、レポート・課題 (40%)、作品・発表 (20%)、実技 (%)、授業態度【積極的参加】(50%)							
教科書	使用しない。							
参考文献	『観光の力』(半藤将代、日経ナショナルジオグラフィック社) 『日本エコツアー・ガイドブック』(海津ゆりえ、岩波書店) 『エコツーリズムの世紀へ』(エコツーリズム推進協議会)							
補足事項	関連図書が多くないので、日本エコツーリズム協会や政府観光局のウェブサイトを参考にする。 https://drive.google.com/file/d/1W18rySQ2Hgg9vxfIzCHK6GUBw9DCxJxA/view?usp=sharing							

科目名	エアライン実務		単位数	2	授業時間数	30	担当教員	さ さ な お こ 佐々 直子
ナンバリングコード	TOS3214		授業形態	演習	実務経験			
授業方式	対面 ・ 遠隔 ・ その他 ()				アクティブ・ラーニングの実施		有 ・ 無	
授業の内容	エアラインで働くキャビンアテンダント及び地上スタッフの仕事への取り組み方を学びます。接客業の仕事現場で求められる、知識・適正と能力(美しい言葉づかい・立ち居振る舞い・おもてなしの心)を学び実践できるスキルを身につけます。グローバル社会に対応できる、物事を柔軟に対処し、自ら考え、行動できる、ホスピタリティマインドにあふれた人材を育てます。							
到達目標	1. エアライン・輸送業界で働く様々な方々の仕事を理解している 2. グローバル社会に対応できる、考え方や行動力・ホスピタリティマインドを日々の生活の中で発揮できる 3. 日本人としての素養である、美しい日本語・立ち居振る舞い・おもてなしの心を身につけ実践できる							
学位授与方針	幼児教育学科 () 地域保育学科 () 文化表現学科 (2,3)							
授業計画	第1回	内容	オリエンテーション ・CAの仕事とその魅力について CAの仕事研究	予習	シラバスを読み、授業概要、評価方法等理解しておく			
				復習	CAの仕事はどのような仕事なのかを説明できる			
	第2回	内容	エアラインのホスピタリティを学ぶ ・日常生活のマナー (演習発表)	予習	マナーの必要性を自分の言葉でまとめる			
				復習	日常生活のマナーの実践度チェックを振り返り、実践しなくなった理由をまとめる			
	第3回	内容	エアラインのホスピタリティを学ぶ(グループディスカッション) ・日常生活のホスピタリティ	予習	ホスピタリティに溢れた行動を書き出す			
				復習	ホスピタリティに溢れた行動ができるようになるか考える			
	第4回	内容	エアラインのホスピタリティ実践に必要な基礎力の養成① 自己理解と社会に求められる能力理解 (演習発表)	予習	サービスとホスピタリティの言葉の意味の違いを調べる			
				復習	日々の行動から自己理解を深める			
	第5回	内容	エアラインのホスピタリティ実践に必要な基礎力の養成② 自己表現力の養成①身だしなみ・立ち居振る舞い (演習発表)	予習	好感の持たれる身だしなみについて調べる			
				復習	体得した身だしなみ・立ち居振る舞いを実行する			
	第6回	内容	エアラインのホスピタリティ実践に必要な基礎力の養成③ 自己表現力の養成②好感を与える言葉づかい・表現法 (演習発表)	予習	言葉遣いの練習問題に取り組む			
				復習	習得した好印象の接客対応を身につける			
	第7回	内容	エアライン研究① (グループワーク) ・国内航空会社・外資系航空会社の比較	予習	興味ある航空会社を調べる			
				復習	発表に向けて航空会社の特徴をまとめる			
	第8回	内容	エアライン研究② (グループワーク、演習発表) ・国内航空会社・外資系航空会社の比較発表	予習	調べた航空会社のプレゼンテーション資料をまとめる			
				復習	他者の発表を聞いたレポートをまとめる			
第9回	内容	ホスピタリティコミュニケーションの養成① (演習ペアワーク) ・機内サービスを実践する お食事サービス	予習	機内のお食事サービスについて調べる				
			復習	お客様対応の実践から、日々の目配りを意識する				
第10回	内容	ホスピタリティコミュニケーションの養成② (グループディスカッション) ・グラウンドスタッフの仕事研究	予習	グラウンドスタッフの仕事について調べる				
			復習	授業から学んだエアラインのホスピタリティを実践する				
第11回	内容	エアライン適正開発① (グループディスカッション) ・CAになるための訓練生の様子を考察する	予習	CAになるための適正について調べてくる				
			復習	CAの訓練の様子から自分に取り入れるものは何か、分析する				
第12回	内容	エアライン適正開発② (演習発表) ・CAの仕事研究	予習	CAの仕事について調べる				
			復習	CAの立ち居振る舞いを実践する				
第13回	内容	エアライン適正開発③ (演習グループディスカッション) ・チームビルディング：伝わる聞き方・伝え方	予習	自分のホスピタリティ度を振り返る				
			復習	わかりやすい話し方を実践する				
第14回	内容	エアライン適正開発④ ・機内アナウンス実践 (演習発表)	予習	機内アナウンスパターンを練習をしてくる				
			復習	習得した好印象の接客対応を身につける				
第15回	内容	総まとめ	予習	授業で習ったホスピタリティを振り返り、自分のホスピタリティ度を自己評価する				
			復習					
予習に要する学習時間：概ね 30分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね 30分を目安とする。								
課題へのフィードバック	各授業内で記入したリアクション欄へ及び各回に出題する課題シートに対してコメントを行う							
成績評価	試験期間における定期試験：実施 () する / (O) しない 成績評価の方法：レポート・課題 (20%)、確認テスト (30%)、実技 (30%)、授業態度【自主性・協働性】(20%)							
教科書	なし							
参考文献	『書名』(著者名、出版社名)『月刊 エアステージ』(イカロス出版)							

補足事項

授業で学んだことを日々復習し、自己表現力やマナー、コミュニケーションスキルを身につけられるよう取り組んでほしい。

https://drive.google.com/file/d/12M7xfhHJaMjQe0eVsBCboy4k89bx-NAQ/view?usp=drive_link

科目名	エアライン英会話		単位数	2	授業時間数	30	担当教員	さき なおこ 佐々 直子
ナバ'リングコード'	TOS3213		授業形態	演習	実務経験			
授業方式	対面 ・ 遠隔 ・ その他 ()				アクティブ・ラーニングの実施		有 ・ 無	
授業の内容	グローバル社会のエアラインには必須の英語力を身につけます。 エアライン業務を想定し、ホスピタリティマインド溢れるお客様対応のフレーズを演習します。 簡単な英語インタビューの応答を練習し、英語での自己表現ができるようになります。							
到達目標	1. 英語での自己表現が、感情豊かにできる 2. 英語での質疑応答ができる 3. エアライン業務の現場で、英語のコミュニケーションが自主的にできる							
学位授与方針	幼児教育学科 () 地域保育学科 () 文化表現学科 (2,3)							
授業計画	第1回	内容	オリエンテーション Public Announcements (ウェルカムアナウンス) (発表)	予習	シラバスを読み、授業概要、評価方法等理解しておく			
				復習	エアラインでよく使われる用語と機内アナウンスの言い回しを覚える			
	第2回	内容	Finding seat (お客様をお座席にご案内する) (ペアでのロールプレイ)	予習	機内のご案内用語にはどのような言葉があるかを調べてくる			
				復習	お客様のご案内の言葉の意味を理解するとともにスムーズに言えるようにする			
	第3回	内容	Baggage in the aisle (お客様の手荷物の対応) (ペアでのロールプレイ)	予習	お客様の手荷物に関わる単語にはどのような言葉があるかを調べる			
				復習	手荷物対応の場面をイメージし、ご案内のフレーズを練習する			
	第4回	内容	Before take off (離陸前の安全確認のやり取り) (ペアでのロールプレイ)	予習	離陸前のCA対応はどのような仕事があるのかを調べてくる			
				復習	離陸前のご案内の会話をスムーズに言えるように練習する			
	第5回	内容	Before take off Champagne Service (離陸前のシャンパンサービス) (ペアでのロールプレイ)	予習	ウェルカムシャンパンとはどのようなサービスなのか調べてくる			
				復習	離陸前の飲み物対応のフレーズを言えるように練習する			
	第6回	内容	Welcome Announcement (離陸直後のウェルカムアナウンス) (演習発表)	予習	機内サービスのアナウンスで使われている単語の意味を調べてくる			
				復習	ウェルカムアナウンスをスムーズに言えるように練習する			
	第7回	内容	Liquor & Meal Service (お食事前のお飲み物サービス) (ペアでのロールプレイ)	予習	飲み物サービスでお出しする飲み物の種類にはどのようなメニューがあるか調べてくる			
				復習	機内のお飲み物サービスの問答をスムーズに言えるように練習する			
	第8回	内容	Entrée Order (お食事サービス) (ペアでのロールプレイ)	予習	お食事の提供はどのようなメニューなのかを調べてくる			
				復習	ステーキの焼き加減をうかがうフレーズをスムーズに言えるように練習する			
	第9回	内容	Special Meal (特別食のサービス) (ペアでのロールプレイ)	予習	特別食の種類について調べている			
				復習	特別食の対応がスムーズにできるように練習する			
	第10回	内容	Inflight Entertainment (機内のエンターテイメントサービス) (ペアでのロールプレイ)	予習	機内のエンターテイメントサービスの種類について調べる			
				復習	エンターテイメントサービスの説明がスムーズに言えるように練習する			
	第11回	内容	Children's Entertainment (お子様のエンターテイメントサービス) (ペアでのロールプレイ)	予習	お子様用のエンターテイメントの種類を調べる			
				復習	お子様への対応をスムーズに言えるように練習する			
	第12回	内容	Route Information (飛行ルートのご案内) (演習発表)	予習	指定された飛行ルートの観光案内ができるように調べる			
				復習	飛行ルートのご案内がスムーズにできるように練習する			
	第13回	内容	In flight sales (機内販売) (ペアでのロールプレイ)	予習	機内免税サービスの取り扱い商品を調べる			
				復習	機内販売サービスをスムーズにご案内できるように練習する			
	第14回	内容	Arrival Information アナウンス (到着のアナウンス) (演習発表)	予習	指定された現地の案内ができるように気候等について調べてくる			
				復習	到着の現地案内ができるように練習する			
	第15回	内容	総仕上げ	予習	これまでに習ったアナウンスを発表できるように練習する			

			復習	習った英単語を再度学習する
予習に要する学習時間：概ね 30分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね 30分を目安とする。				
課題へのフィードバック	課題シートに対してコメントを行う			
成績評価	試験期間における定期試験：実施（ ）する／（ ○ ）しない 成績評価の方法：レポート・課題（20%）、確認テスト（30%）、実技（30%）、授業態度【自主性・協働性】（20%）			
教科書	なし			
参考文献	『書名』（著者名、出版社名） 『月刊 エアステージ』（イカロス出版）			
補足事項	授業で学んだ英単語やフレーズを、旅行先や外国人との対話チャンスで活かしていく。 例：街中での道案内、レストランやカフェでの注文 飛行機を利用した時には飛行場や機内アナウンスを英語で聞き取るように意識する https://drive.google.com/file/d/1apdN9eKcpTl0h1D98pRvchgbvS0j1Gzs/view?usp=sharing			

科目名	観光英会話		単位数	2	授業時間数	30	担当教員	おかだ まゆみ 岡田 真弓
ナバ'リングコード'	TOS3222		授業形態	演習	実務経験			
授業方式	対面 ・ 遠隔 ・ その他 ()				アクティブ・ラーニングの実施		㊦ ・ 無	
授業の内容	本授業では、海外からの訪問客に英語で対応する際の基本的な表現や説明の仕方を中心とした英会話を学ぶ。 近年の訪日外国人の増加に伴い、英語による適切でスムーズなコミュニケーションを図ることが必要とされることを鑑み、外国人客と日本人スタッフの二者間の会話を中心として、ロールプレイング等による練習を行う。							
到達目標	1. 外国人観光客に英語で必要な情報を提供することができる。 2. 観光ビジネスや接客に関する基本的な英会話を身につけている。 3. 外国人に英語で日本の文化や伝統を紹介することができる。							
学位授与方針	幼児教育学科 () 地域保育学科 () 文化表現学科 (1, 2, 4)							
授業計画	第1回	内容	ガイダンス (授業概要説明、成績評価説明) Unit 1. Transportation	予習	シラバスを読んでおく ノートを用意する			
				復習	授業の進め方や成績評価について確認する 授業でならったことを復習する			
	第2回	内容	Unit 1. Transportation Unit 2. At a Check-in Counter(hotel)	予習	教科書の交通に関する語の意味とICカードについての説明文について調べておく p7のチェックインに関する単語の意味を調べてくる			
				復習	授業で習ったことを復習する 交通についての会話文を音読する			
	第3回	内容	Unit 2. At a Check-in Counter(hotel) Unit 3. Facilities and Services (hotel)	予習	ホテルの施設に関する単語の意味を調べる p10 説明文の単語の意味を調べる			
				復習	ホテルでのチェックインの会話を音読する ホテルの施設に関する会話を音読する			
	第4回	内容	Unit 4. Giving Directions	予習	道案内に関する単語の意味を調べる p21 観光情報の単語の意味を調べる			
				復習	授業で習ったことを復習する 道案内の会話を音読する			
	第5回	内容	Unit 5. Recommending a Trip	予習	海外からのお客様に観光スポットを勧める際に使う単語の意味を調べる p26 観光情報の単語の意味を調べる			
				復習	授業で習ったことを復習する 観光案内に関する会話を音読する			
	第6回	内容	Unit 6. Dining in Japan ①	予習	日本の食事に関する単語の意味を調べる p31 食事制限に関する用語と vocabulary check の単語の意味を調べる			
				復習	授業で習ったことを復習する 日本の食事に関する会話を音読する			
	第7回	内容	Unit 7. Dining in Japan ②	予習	日本料理を説明する際に使う語句の意味を調べる p37 食べ物の説明の単語の意味を調べる			
				復習	授業で習ったことを復習する 日本料理を説明する会話を音読する			
	第8回	内容	Unit 8. Arranging a Tour	予習	海外からのお客様に国内旅行をアレンジする際の単語の意味を調べる p42 ツアーに関する書式の単語の意味を調べる			
				復習	授業で習ったことを復習する 海外からのお客様に国内旅行をアレンジする会話を音読する			
	第9回	内容	Unit 9. Staying at a Ryokan	予習	旅館でのマナーを説明する際に使う語句の意味を調べる p47 旅館からの案内の単語の意味を調べる			
				復習	授業で習ったことを復習する 旅館でのマナーを説明する文章を音読する			
	第10回	内容	Unit 10. Culture Experience in Japan ①	予習	日本の伝統文化を紹介する際に使う単語の意味を調べる p53 案内の単語の意味を調べる			
				復習	授業で習ったことを復習する 日本の伝統文化を説明する会話を音読する			
	第11回	内容	Unit 11. Culture Experience in Japan ②	予習	日本の年間行事を紹介する際に使う単語を調べる p58 パンフレットの単語の意味を調べる			
				復習	授業で習ったことを復習する 日本の年間行事を説明する会話を音読する			
	第12回	内容	Unit 12. Japanese Souvenirs	予習	日本のお土産を紹介する際に使う単語の意味を調べる p63 ショッピングの案内の単語の意味を調べる			

				復習	授業で習ったことを復習する 日本のお土産を説明する会話を音読する
	第13回	内容	Unit 13. Dealing with Health Problems and Emergencies	予習	旅行中の病気について説明する際の単語の意味を調べる p69 防災対応案内の単語の意味を調べる
				復習	授業で習ったことを復習する お客様が病気をされた際の会話を音読する
	第14回	内容	Unit 14. Dealing with Complaints and Accidents	予習	クレームや問い合わせへの対応で使う単語の意味を調べる p74 遺失物のメモの単語の意味を調べる
				復習	クレームに対応する際の会話を音読する 授業で習ったことを復習する
	第15回	内容	Unit 15. Upon Departure	予習	チェックアウトやその後の手配の対応で使う単語の意味を調べる p79 メモと手荷物引換証の単語の意味を調べる 課題のノートをまとめる
				復習	今学期習ったことノートを見ながら復習する
	予習に要する学習時間：概ね 30 分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね 40 分を目安とする。				
課題へのフィードバック	発言の際、発音や英語の表現等についてのフィードバックを行う。また授業内に実施する小テストや作文の採点・評価、解説をして返却する。				
成績評価	試験期間における定期試験：実施（ ）する／（ ○ ）しない 成績評価の方法： 授業内小テスト（60%）、授業内発表（20 %）、授業態度【積極的参加】（ 20 %）				
教科書	『Hospitality on the Scene』（上杉恵美・阿部佳・渭東史江・松島康彦・神末武彦・Jacob Schere、金星堂）				
参考文献	なし（必要な際はプリントを配布したり、動画を見たりする。）				
補足事項	予習の内容はノートに書いてくる。辞書やスマートフォンは、指定した時間（作文や情報収集）のみ使用する。重要語彙を覚え、小テストに備えること。授業内発表は、作成した会話をペアで発表することが含まれる。				

科目名	文化を訪ねる		単位数	2	授業時間数	30	担当教員	あきやま 秋山 美和子
ナンバリングコード	CUL3221		授業形態	演習	実務経験			
授業方式	○対面・遠隔・その他()				アクティブ・ラーニングの実施		○有・無	
授業の内容	本演習では、京都の歴史、文化、伝統工芸等について、各自の学びたいテーマを設定し、12月初旬に実際に現地に訪問してテーマに合わせた学習を行う。事前学習として、事前調査と行動計画の作成を行い、事後学習として、現地訪問で学んだことを発表する。							
到達目標	1. 事前学習として学習テーマの設定、ウェブサイトなどを活用した事前調査、行動計画の作成ができる 2. グループのメンバーと積極的にコミュニケーションを図り、行動計画を円滑に滞りなく遂行できる 3. 事後学習において、自身の学んだことをPower Point等を利用して発表することができる							
学位授与方針	幼児教育学科() 地域保育学科() 文化表現学科(1、2)							
授業計画	第1回	内容	オリエンテーション		予習	シラパスの内容をよく読んでおく		
					復習	本演習の内容と進め方を理解する		
	第2回	内容	グループ決め、テーマ設定		予習	テーマの候補をいくつか考えておく		
					復習	テーマに合わせた訪問先の候補を検討する		
	第3回	内容	訪問先等の決定		予習	訪問先の候補を用意しておく		
					復習	訪問先の位置関係を把握する		
	第4回	内容	行動計画の作成		予習	経路、交通手段、移動時間等を整理する		
					復習	行動計画を作成し、提出する		
	第5回	内容	京都を歩くⅠ-1		予習	一日目の行動計画を確認する		
					復習	入場券・拝観兼やパンフレットを整理する		
	第6回	内容	京都を歩くⅠ-2		予習	行動計画通りに進んでいるかを確認する		
					復習	入場券・拝観兼やパンフレットを整理する		
	第7回	内容	京都を歩くⅠ-3		予習	行動計画通りに進んでいるかを確認する		
					復習	一日目の行動記録を整理する		
	第8回	内容	京都を歩くⅡ-1		予習	二日目の行動計画を確認する		
					復習	入場券・拝観兼やパンフレットを整理する		
第9回	内容	京都を歩くⅡ-2		予習	行動計画通りに進んでいるかを確認する			
				復習	入場券・拝観兼やパンフレットを整理する			
第10回	内容	京都を歩くⅡ-3		予習	行動計画通りに進んでいるかを確認する			
				復習	二日目の行動記録を整理する			
第11回	内容	京都を歩くⅢ-1		予習	三日目の行動計画を確認する			
				復習	入場券・拝観兼やパンフレットを整理する			
第12回	内容	京都を歩くⅢ-2		予習	行動計画通りに進んでいるかを確認する			
				復習	入場券・拝観兼やパンフレットを整理する			
第13回	内容	京都を歩くⅢ-3		予習	行動計画通りに進んでいるかを確認する			
				復習	三日目の行動記録を整理する			
第14回	内容	発表の準備		予習	実際の行動記録を整理する			
				復習	発表資料を完成させ、提出する			
第15回	内容	発表		予習	発表の練習をする			
				復習	自身の発表の振り返りをする			
	予習に要する学習時間：概ね30分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね30分を目安とする。							
課題へのフィードバック	研修計画、発表について口頭でコメントする							
成績評価	試験期間における定期試験：実施()する／(○)しない 成績評価の方法：筆記試験()%、レポート・課題(30%)、作品・発表(20%)、実技()%、授業態度【現地活動の積極性】(50%)							
教科書	使用しない							
参考文献	使用しない							
補足事項	京都を歩くⅠ～Ⅲは、二泊三日の京都における集中講義 ループリンク： https://drive.google.com/file/d/1QNLQIwhPpvPWx43G1iJ-MrMUtVCh222/view?usp=sharing							

科目名	インターンシップ		単位数	2	授業時間数	30	担当教員	あきやま みわこ 秋山 美和子		
ナンバリングコード	CAE322I		授業形態	演習	実務経験					
授業方式	対面・遠隔・その他()				アクティブ・ラーニングの実施			有・無		
授業の内容	本演習は、社会人にとって必要なマナーやコミュニケーション能力を身につけることを目的とする。また、実際の企業・団体等での実習を通して、各現場での実態を理解し、職業人としての意識・態度を涵養することを目指す。これらの学びや体験を通して、働くことの意義を考え、責任を自覚して将来の職業選択に生かせるようにする。									
到達目標	1. 社会人として必要なマナーやコミュニケーション能力が身についている 2. 働くことの意義を理解し、意欲をもって職業選択に取り組むことができる 3. インターンシップ先の業界、業務について理解している									
学位授与方針	幼児教育学科() 地域保育学科() 文化表現学科(2、3、4)									
授業計画	第1回	内容	イントロダクション(インターンシップとは何か)		予習	シラバスの内容をよく読んでおく				
					復習	本演習の概要を理解する				
	第2回	内容	基本的なマナー① 心構え、言葉遣い、身だしなみ等		予習	必要なマナーについて考える				
					復習	各マナー、所作の練習をする				
	第3回	内容	基本的なマナー② 電話のかけ方、受け型等		予習	一般的な電話の応答について調べる				
					復習	電話応答の仕方を練習する				
	第4回	内容	書類の書き方、面接の受け方		予習	履歴書を書いてみる				
					復習	面接のマナーを練習する				
	第5回	内容	実習先の決定と申し込み		予習	インターンシップ先を検討しておく				
					復習	インターンシップ先企業・団体等に連絡をする				
	第6回	内容	先輩による体験報告会		予習	自身のインターンシップ過程を想定する				
					復習	先輩からの学びを整理する				
	第7回	内容	インターンシップ先企業・団体等の調査		予習	インターンシップ先の業界について調べる				
					復習	調べた内容をまとめる				
	第8回	内容	インターンシップ	実習先企業・団体等の調査①		予習	実習先の概要を調べる/実習の内容を確認する			
			復習			実習の日誌をまとめる/調べた内容をまとめる				
第9回	内容	インターンシップ	実習先企業・団体等の調査①-2		予習	実習の内容を確認する/業務内容を調べる				
		復習			実習の日誌をまとめる/調べた内容をまとめる					
第10回	内容	インターンシップ	インターンシップ①		予習	実習の内容を確認する				
		復習			実習日誌をまとめる					
第11回	内容	インターンシップ	実習先企業・団体等の調査②		予習	実習先の概要を調べる/実習の内容を確認する				
		復習			実習の日誌をまとめる/調べた内容をまとめる					
第12回	内容	インターンシップ	実習先企業・団体等の調査②-2		予習	実習の内容を確認する/業務内容を調べる				
		復習			実習の日誌をまとめる/調べた内容をまとめる					
第13回	内容	インターンシップ	インターンシップ②		予習	実習の内容を確認する				
		復習			実習の日誌をまとめる					
第14回	内容	インターンシップ報告会準備		予習	実習記録を作成して提出する					
				復習	報告会の練習をする					
第15回	内容	インターンシップ報告会		予習	実習記録(最終版)を提出する					
				復習	報告会の内容を振り返り、学びを深める					
予習に要する学習時間：概ね30分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね60分を目安とする。										
課題へのフィードバック	インターンシップの派遣前後に面接を行う。派遣後の面接で実習報告のフィードバックを行う。 報告会については口頭でフィードバックを行う。									
成績評価	試験期間における定期試験：実施()する/(O)しない 成績評価の方法：筆記試験(%)、レポート・課題(40%)、作品・発表(20%)、実技(40%)、授業態度【 】(%)									
教科書	使用しない									
参考文献	使用しない									
補足事項	インターンシップは、第8回から5日程度のインターンシップに参加する形式と、1日のインターンシップに複数回参加する形式に分かれる。どちらの形式で参加するかは、授業内の教員との面談等を通して決定する。 ループリンク： https://drive.google.com/file/d/1QNlQVIwhPvPWx43G1iJ-MrMUTvCh222/view?usp=sharing									

科目名	キャリアスタディ(企業人に学ぶ)		単位数	2	授業時間数	30	担当教員	いとう あきよし 伊藤 明芳 他	
ナンバリングコード	CAE3213		授業形態	講義	実務経験				
授業方式	対面 ・ 遠隔 ・ その他 ()				アクティブ・ラーニングの実施		有 ・ 無		
授業の内容	企業との連携により実施する授業です。現役で働いている企業の方を講師としてお招きし、企業の職種・業務の内容を中心とした説明を受ける授業と社会人としてのマナーなどを学ぶ授業の2本立てとなっています。授業を通じて、就業する際に必要な「業種・職種」を理解し、併せて企業の「人材採用方針」「社会人としてのマナー」等についても認識できるようにします。毎回「課題レポート」等の執筆を課すアクティブラーニングの授業です。								
到達目標	1. 企業の職種、業種を理解することができる。 2. 企業の人材採用方針について理解することができる。 3. 社会人としてのマナーやTP0を知り、企業社会と働き方を認識することができる。								
学位授与方針	幼児教育学科 () 地域保育学科 () 文化表現学科 (2, 3, 4)								
授業計画	第1回	内容	学長講話①	予習	シラバスを読んでおくこと。				
				復習	授業内容を確認し、小レポートを作成すること。				
	第2回	内容	学長講話②	予習	前回内容の復習と小レポート提出。				
				復習	授業内容を確認し、小レポートを作成すること。				
	第3回	内容	学長講話③	予習	前回内容の復習と小レポート提出。				
				復習	授業内容を確認し、小レポートを作成すること。				
	第4回	内容	業界・企業研究①	予習	事前の予定表に基づいて産業界・企業について調べておくこと。小レポート提出。				
				復習	授業での気づきノートに記入し確認すること。				
	第5回	内容	業界・企業研究②	予習	事前の予定表に基づいて産業界・企業について調べておくこと。				
				復習	授業での気づきノートに記入し確認すること。				
	第6回	内容	業界・企業研究③	予習	事前の予定表に基づいて産業界・企業について調べておくこと。				
				復習	授業での気づきノートに記入し確認すること。				
	第7回	内容	SPI	予習	SPIについて調べておくこと。				
				復習	授業での気づきノートに記入し確認すること。				
	第8回	内容	業界・企業研究④	予習	事前の予定表に基づいて産業界・企業について調べておくこと。				
				復習	授業での気づきノートに記入し確認すること。				
	第9回	内容	業界・企業研究⑤	予習	事前の予定表に基づいて産業界・企業について調べておくこと。				
				復習	授業での気づきノートに記入し確認すること。				
	第10回	内容	業界・企業研究⑥	予習	事前の予定表に基づいて産業界・企業について調べておくこと。				
				復習	授業での気づきノートに記入し確認すること。				
	第11回	内容	社会人としてのマナー①	予習	社会人としてのマナーについて調べておくこと。				
				復習	授業での気づきノートに記入し確認すること。				
	第12回	内容	社会人としてのマナー②	予習	社会人としてのマナーについて調べておくこと。				
				復習	授業での気づきノートに記入し確認すること。				
	第13回	内容	社会人としてのマナー③	予習	社会人としてのマナーについて調べておくこと。				
				復習	授業での気づきノートに記入し確認すること。				
	第14回	内容	社会人としてのマナー④	予習	社会人としてのマナーについて調べておくこと。				
				復習	授業での気づきノートに記入し確認すること。				

	第15回	内容	社会人としてのマナー⑤	予習	社会人としてのマナーについて調べておくこと。
				復習	授業での気づきノートに記入し確認すること。
予習に要する学習時間：概ね90分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね90分を目安とする。					
課題へのフィードバック	課題（気づきノートの作成）などを通じて学習内容の理解増進を図ります。				
成績評価	試験期間における定期試験：実施（×）しない 成績評価の方法：レポート・課題（90%）、授業態度【課題提出状況】（10%）				
教科書	特に指定しません。				
参考文献	特にありません。				
補足事項	毎回の授業内容を把握しているか否かを、授業終了後に提出する「課題レポート」の内容で判断します。成績評価の基準は「課題レポート」の内容によって決まります。毎回は試験のつもりで頑張ってください。				